

TOHATSU

PARTNER

2015年1月1日発行 / 新年号

VOL.94



Photo: 第24回全国消防操法大会(岡山市消防団)

CONTENTS

●年頭ご挨拶	P2	●BOAT GAME FISHING 2014 in 塩釜	P6
●西銘生治氏が旭日双光章受賞	P3	●宮古市田老漁協展示即売会開催	P6
●東北トーチポンプ会秋季研修旅行	P3	●第58回駒ヶ根商工祭り	P6
●北海道トーチポンプ会総会	P3	●(株)奥山ポンプ商会在駒ヶ根工場を見学	P6
●トーチポンプ中央会秋期総会	P3	●熊本県山都町 VF53AS、VF21BS 納入	P7
●第24回全国消防操法大会	P4	●九州・山口トーチポンプ技術講習会	P7
●横浜ボートフェア2014	P5	●関西ブロック技術講習会	P7
●2014りんくうフローティングボートフェア	P5	●秋期トーチポンプサービス研修会	P7
●2014フィッシングボートフェア	P5	●北海道トーチポンプセールス研修会	P7
●神村マリン・モータース試乗会	P6	●RISCON TOKYO 危機管理産業展 2014	裏表紙
●ボートクラブカナル試乗会	P6	●水陸両用車日本上陸	裏表紙



トーチポンプ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>



平成27年 年頭ご挨拶

トーハツ株式会社

代表取締役社長 日向 勇美

平成27年の新年を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

本誌御愛読の皆様をはじめとして、ステークホルダーの皆様の多大なる御支援、御協力を頂き、本年も無事新年を迎えることが出来ました。旧年中に賜りました御支援、御協力に深く感謝申し上げます。

昨年日本経済を振り返りますと、安倍首相は一昨年の政権発足後、金融、財政、成長戦略の3本の矢で日本経済をデフレから脱却させ、好循環に乗せると言った狙いを掲げ、その後の舵取りの成果として、失業率の低下と株価の上昇と言った好効果へ導きました。又昨年10月に日銀が追加金融緩和を決めた効果に拠り、為替レートは対ドルで年初の104円台から120円台と16円も円安となり、日経平均株価も15,000円台から17,000円台へと大きく上昇しました。その一方、消費税増税の影響に拠り、昨年4月以降は消費の落ち込みが顕著に現れ、GDPは2四半期連続でマイナス成長となり、国内の景気は低迷したまま年末を迎えた様に感じます。収益が拡大した大手企業と業績の厳しい中小企業、都心部の企業と地方の企業の収益格差、更には同じ業界内に於いても勝ち組と負け組が混在する等、これまで以上に景気の不透明感が増しております。海外に目を向けますとウクライナ情勢の緊迫化やイスラム国によるテロの拡大、更には西アフリカ諸国でのエボラ出血熱の発生等の話題は、弊社のみならず、多くの企業に影響を及ぼしたものと思います。

この様に国内外の弊社を取り巻く経営環境は絶えず変化しており、マリン、防災業界共に競争が益々激化しております。その様な中、昨年、マリン事業ではMFS40/50及びBFT60~BFT250(国内向けにはBFT75/90及びBFT150)の中、大型船外機の発売開始に伴い、欧米市場に於いて、新たな販売網の開拓に向け果敢に挑んで参りました。防災事業では昨今の多発する自然災害発生時の対応を鑑みて、新たな試みとして水陸両用車の取扱いを開始したところでございます。この変化の大きい時代に勝ち残るため、今年も弊社は全社員が一丸となって、積極性と行動力を発揮し、新しい可能性への挑戦を続けて参ります。何卒旧年に増しての御支援、御協力を賜ります様宜しく御願い申し上げます。

最後になりましたが、新しく迎えた年、今年の干支は「未」ですが、群れなす羊は家族の安泰を示し、平和に暮らすことを意味すると言われております。今年の干支の如く、新しい年が皆様、並びに御家族の皆様にとりまして幸せで、実りの多い年になります様お祈り申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

平成26年度

東北トーハツポンプ会 秋季研修旅行

去る11月6日(木)～8日(土)、東北トーハツポンプ会では、神奈川箱根湯本で平成26年度秋季研修旅行、及び第24回全国消防操法大会の視察を実施致しました。異例ではありましたが道中の貸切観光バス内で総会を行い、四季折々に美しい趣をみせる箱根湯本の温泉宿に到着。箱根の名湯で至福の湯悦びに浸かった後は相模湾の海の幸を中心に吟味した逸品食の懇親会で盛り上がりました。

翌日には近郊の箱根神社や神秘的な忍野八海と散策し、更には天地の境とも呼ばれる森林限界線の富士山五合目にも登山し、時折顔を見せる富士山の雄大さを満喫しながら東京に移動後、主目的である第24回全国消防操法大会を視察し散会となりました。会員の皆様大変お疲れ様でした。

(防災東北/中島)



春の叙勲で西銘生治氏が 旭日双光章を受賞



平成26年春の叙勲において、三輝物産(株)代表取締役西銘生治氏(熊本法人会長)が多年にわたる法人会発展への功績により栄える「旭日双光章」を受賞されました。去る7月29日にホテル日航熊本で受賞祝賀会が開催されました。出席者の皆様は九州のみならず全国から集い盛大な祝賀会になりました。

当日は、弊社会長の金子が発起人挨拶をし、「昭和26年6月28日に設立され、弊社との取引も60年以上の長き期間にわたり、熊本と云えば『くまもん』又は『西銘社長』とお名前が出てくるほど有名人」とご紹介させて頂きました。

西銘社長の旭日双光章受賞、誠にありがとうございます。

(防災九州/田中)

北海道トーハツ ポンプ会総会



第23回北海道トーハツポンプ会総会が、今総会より新会長に就任した八木健真氏を中心とした新体制の下、紅葉も色づき始めた晴天の11月11日(火)に札幌パークホテルにて開催されました。

まず初めに、今年御逝去された北海道消防機材(株)の八木忠雄氏、(株)北海道モリタの平賀孝一氏のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

八木会長の挨拶をはじめトーハツ(株)社長の日向、(株)北海道モリタ中川新社長の挨拶があり、業界の近況報告がされました。総会中、活発な意見が飛び交い、道内の情報交換が行われ、終始穏やかなムードの中親睦を深め閉会となりました。来年度は道外で総会を行う予定です。

同会員の皆様、並びに事務局の(株)北海道モリタ様、ご多忙の中ご参加いただき誠に有難うございました。(防災北海道/小鷹)

～ トーハツポンプ中央会 エピナール那須で秋期総会 ～



トーハツポンプ中央会では、去る11月14日(金)、栃木県那須高原にあるホテルエピナール那須で秋期総会を開催。今総会の前週、全国操法大会が開催されVC72PRO IIが首位を独占したので販売店からは「VFPRO, VCPRO IIIは？」と新製品開発の期待する声もありました。

また、第2部では、逆井会長、トーハツ(株)の新社長日向の挨拶後、トーハツ(株)防災営業部長青山から業界の状況と販売動向などの報告があり、質疑応答の中では、活発な意見交換が行われておりました。また各特約店の販売状況の報告の中、「トーハツポンプ シェア100%を目指します。」と心強いお言葉を頂きました。

遠路ご出席賜りました会員の皆様には、誌上より厚くお礼申し上げます。(防災中央/後藤)



VC72PRO II
1位 2位 3位 独占!!

第24回 全国消防操法大会

岡山県 岡山市消防団 優勝



第24回全国消防操法大会が、去る11月8日（土）あいにくの曇り空の中、東京都にある東京臨海広域防災公園で開かれ、都道府県大会を勝ち抜いてきた各消防団の精鋭たちが日頃の訓練により培った消防操法技術を競い合い、見事なポンプ操法を披露しました。

全国消防操法大会とは、都道府県代表の消防団員の皆様が、迅速、確実かつ安全に行動するために審査規定の消防用機械器具の取扱い及び操作の基本についてその技術を競う大会です。このため審査の要点は、「士気、規律」「迅速な行動、動作、チームワーク」「確実な操作」「消防用機械器具の精通とその愛護」「各隊員の安全」を要点に審査されています。

今大会の小型ポンプの部には、都道府県の代表24チームが出場し、その中でVC72/62PRO II、VC72/62PRO、VF63ASで18チームが出場した形となりました。

出場1番目に操法を披露した広島県・福山市消防団はトップバターのプレッシャーを跳ね除け90.0点（41.93秒）と見事な得点をマークしました。次に出場7番目の島根県・奥出雲町消防団が90.5点（41.85秒）をマーク、さらに出場10番目の第22回の優勝消防団、兵庫県・福崎町消防団が91.0点（41.06秒）をマークいたしました。午前中に90点台が3チームと高い技術力の競演となっていました。午後に入り、出場18番目の岡山市・岡山市消防団が91.0点（40.29秒）をマークし、得点では同じ福崎町消防団にタイム差でかわすことで優秀の栄冠を獲得しました。

また同時開催された、地域を守る消防防災展、消防団の交流物産展では、特産品販売コーナーや消防機器展示コーナーなどが立ち並び、消防関係者、応援団員、地本市民などが訪れて大いに賑わっていました。その中で弊社の展示ブースでは水陸両用車をはじめ、資機材搬送車そして福崎町消防団に納入した軽デッキバンを中心に展示し、終日消防関係者などで混み合い大盛況のうちに幕を閉じました。

成績結果は別表の通りとなり、1位2位3位がVC72PRO IIと素晴らしい成績を、弊社のポンプが消防団の皆様のおかげで納めることができました。

岡山県岡山市消防団の皆様、優勝おめでとうございました。またトーハツポンプで出場された各消防団チームの皆様には、誌上から厚くお礼申し上げます。
 (防災課/高橋)

成績	都道府県名	消防団名	ポンプ型式
優勝	岡山県	岡山市消防団	VC72PRO II
準優勝	兵庫県	福崎町消防団	VC72PRO II
	島根県	奥出雲町消防団	VC72PRO II
	広島県	福山市消防団	他社
優良賞	愛知県	豊田市消防団	他社
	岐阜県	海津市消防団	VC62PRO II
	山梨県	南アルプス市消防団	VC72PRO II
	千葉県	八街市消防団	VC72PRO II
	宮城県	石巻市消防団	VC72PRO II
	滋賀県	甲賀市消防団	VC72PRO II



横浜ボートフェア 2014



さわやかな秋晴れのもと、10月3日（金）より横浜ベイサイドマリーナにて「横浜ボートフェア 2014」が行われました。ベイサイドマリーナは、国際ポートショーにおけるフローティング会場として知られ、日本屈指の規模を誇り、併設されるアウトレットモールでのショッピング、マリーナに係留されるさまざまな船舶を見ながら、家族、友人たちと一日楽しむことができる会場です。

今年のトーハツブースは、TF-250SC と TWF -17R を展示。事前に案内を見て実物に触れたい方、会場にて興味を持たれた方、ショッピングの傍ら、ボートレジャーを初めて知る方々等、様々なひとたちが来場されました。

TF-250SC には、BFT150A をフローティング会場にセッティング。最高峰のフィッシングボートと、船外機がセットされたトーハツの旗艦モデルです。フィッシングを充分に楽しむための空間と、快適性が最大の売りとなっています。

一方、ボードウォーク会場には、TFW-17R を「ライトウエイト エコスポーツ」をコンセプトとして今年より新発売となっておりますMFS50Aをセットし、トレーラブルボートとして展示。低燃費とパワフルさが魅力の4ストローク船外機と、軽量で取り回しのしやすさで好評の小型コンソール和船は、マリーナを歩きかうひとびとにマリンレジャーへの誘いを語りかけていました。新型50馬力との相性は抜群で、走ってよし、釣ってよし、またトレーラーを用いる事で、全国各地での様々な釣果を期待することが出来る楽しさ満載のボートとして仕上がっており、その価格の魅力性も行きかう来場者を引き付けました。

最終日は台風の影響により残念ながら中止となりましたが、開催された2日間は、来場頂いた方々にマリンレジャーの楽しみを知ってもらった絶好の場となりました。

続々と発売されるトーハツ船外機の魅力に今後ともご期待ください。

(マリン課/大坪)



2014 りんくうフローティングボートフェア開催

去る10月17日（金）～19日（日）の3日間、愛知県常滑市のNTP りんくうマリーナで「2014 りんくうフローティングボートフェア」が開催されました。国内メーカーはトーハツ、トヨタ、ヤマハ、ヤンマー、スズキの5社、海外からはプリンセスが参加。

来場者は各社の舟を乗り比べる場でもあり、次々と試乗し振っていました。そんな中、トーハツは和船シリーズで好評のあるTFW-25R（BFT90A セット艇）を試乗艇として出展。和船の特性である広々としたオープンデッキ、ジギングには欠かせないキャストリングデッキに実際に立ち、確認されていました。また営業マンより、和船でありながらマリントイレ付きである事を伝えると驚きの表情で見入っていました。実際に試乗しフルスロットルで30ノット超えを体感して頂くと「和船でこんなにスピードが出るなんて驚いた」と歓声が上がりました。

来場者数は3日間で850名と目標の1,000名には届きませんでしたが、内容の濃いユーザーが多く、多数の見積もり依頼が寄せられました。

(マリン中部/山中)



2014 フィッシングボートフェア開催

宮城県のほぼ中央、社の都・仙台と日本三景で名高い松島との中間に位置し、国内有数の港湾都市塩釜にて、去る11月8日（土）～9日（日）の2日間、フィッシングボートフェアが開催されました。ここ塩釜は、日本一の鮮マグロの水揚げ港と代表され、新鮮な魚介類により港町独特の食文化を作り上げてきた町でもあります。皆さんも良くご存じの「笹かまぼこ」はまさにその一に挙げられます。

震災後初となりますボートフェア、国内ボートメーカー新鋭艇を体感出来る絶好のチャンスとあって多数の来場者に訪れて頂きました。

当社はTF-250SC にパワフル且つゆとりのグループで人気のBFT150Aを搭載し、塩釜の皆様へPR。特にTF-250SCの広々としたフラットデッキスペースは高い評価を頂く事が出来、試乗いただいた皆様は、様々なボートライフを思い描きご満悦な表情でした。

中には、震災時の恐怖から海に出るのを断念していたが3年半経過した今、「もう一度船に乗ってみたい」と言って来場された方も。

東北レジャー市場に明るい兆しを垣間見ることが出来た2日間となりました。(マリン課/藤川)



◎神村マリン・モーターズ 試乗会

From
10/25 to
10/26



10月25日(土)～26日(日)の2日間に渡り、浜名湖湖畔の神村マリン・モーターズ様において、TFW-25R + BFT90A セット艇の浜名湖初となる試乗会が行われました。

心地良い秋晴れの中、朝一番のブース設営中からお客様が来場され、試乗される際にも熱心に説明を受けて頂きました。広大なデッキと鮮やかなカラーハル、そして何といてもマリントイレが取り付けられる世界初の和船は、和船タイプが主流の浜名湖において注目の的であり、釣りやすさはもちろんのこと、フィールドにマッチした使い勝手が好評を博し、今後の販売に期待が持てる試乗会となりました。同時に展示した4ストロークNewモデルのMF550Aも来場者の関心を集め、後日成約頂くことが出来ました。

また、今回はドライバッグブランドであるStream Trail様に御協力頂き、店頭にて展示即売会を行って頂きました。マリンプレイは常に荷物が水に濡れる心配と隣り合わせの為、予想以上の売れ行きで今後の取り扱い増にむけて好調な滑り出しとなりました。

試乗会開催に際し、多大なるご協力を頂きました神村マリン・モーターズ様、(株)キャップス様に厚く御礼申し上げます。(マリン課/石丸)

◎ボートクラブカナル試乗会



11月9日(日)、浜名湖湖畔のボートクラブカナル様において、TFW-25R + BFT90A セット艇の試乗会が行われました。

当日はボートクラブカナル様が年4回開催する浜名湖オープントーナメントの最終戦と併催という形を取らせて頂き、早朝の大会スタートから盛り上がりしました。

大会スタート時点ではなんとかもっていた天候も次第に崩れ始め、時折土砂降りとなる状況の中、大会参加者は最後まで諦めることなくそれぞれのベストを尽くしていました。

表彰式後にはメインスポンサーである鮪の海商様より鮪解体ショー及び捌きたての鮪が振舞われ、参加者の笑顔が印象的でした。当社が協賛させて頂いた協賛品も好評を博し、当社のブランド力底上げにも繋がったと実感しております。

雨の中の試乗となりましたが、多数の方に御乗船頂き、航走性能等を確かめて頂くことが出来ました。

試乗会開催に際し、多大なるご協力を頂きましたボートクラブカナル様、浜名湖オープントーナメント実行委員会様に厚く御礼申し上げます。(マリン課/石丸)



◎BOAT GAME FISHING 2014 in 塩釜

11月19日(日)、塩釜にて日本マリン事業協会主催でルアー釣り大会が行われました。大会も今年で第4回目ですが、今回は29艇99名となり多くの方にご参加いただいております。

当日は、天候も穏やかで過去最高の天候となり、ほとんどの船が魚を釣り上げ、検量も行い、すばらしい釣果でした。今から参加者の意見を取り入れて対象魚のカテゴリーを昨年から1つ増やし、以下の4つのカテゴリーで行われました。

カテゴリー1：ワラサ・ブリ・ヒラマサ・カンパチ

カテゴリー2：マグロ・カツオ・サワラ・シイラ

カテゴリー3：アイナメ・ソイ

カテゴリー4：タイ・ヒラメ

カテゴリー2のみ釣れませんでした。1ではワラサが、3ではアイナメ・ソイと、4ではタイ・ヒラメが釣れていました。

第4回ということもあり毎回参加されている方も多くなっているため、各カテゴリーごとに狙いを定めた釣り方になり、参加者は色々な戦略を立てて上位入賞を目指していました。

6:30 スタート～12:00 STOP FISHING、11:00～14:00 検量時間でしたが、釣果がいいようで13時近くまで帰着がありません。それでも13時過ぎから、検量所がパニックとなりながらも検量が行われ、数ミリ単位での争いとなりました。

この大会は毎年出ている人も多く、勝負も年々盛り上がりを見せています。15時からマリンゲートに会場を移して表彰式とパーティが行われ、最後に記念写真を撮り、無事に大会を終了しました。(マリン東北/木村)

◎宮古市田老漁協展示即売会開催

10月3日(金)～4日(土)、岩手県宮古市田老漁協主催の展示即売会が開催されました。当社販売店である千葉農林様が出展され当社製品のPR活動としてエンジン等を展示しました。大震災の津波後に参加していなかったヤマザキマリン様も今年より参加され、期間中多くの方にご来場いただけました。

仮設生活が続く中で今年も展示会が行われ、JFが応援している演歌歌手によるコンサートも開かれて盛り上がりしました。漁も少しずつもどり、年々活気が出てくるのを感じられる展示会でした。(マリン東北/木村)



◎第58回駒ヶ根商工祭り



多少の肌寒さを感じながらも天候に恵まれた去る10月12日(日)、長野県駒ヶ根市で行われた「第58回駒ヶ根商工祭り」に出展いたしました。防災関係ではVF63AS 積載のデッキパンの展示を、マリンからは船外機の展示を行いました。

近隣に住む家族連れが数多く見られ、子どもたちにはぬいぐるみや消しゴムをお配りしました。さらに、デッキパンの消防車両に実際に乗るといった体験もしていただき、どちらも非常に好評を得ました。特に消防車両に乗るといったことは普段できない体験であり、子どもたちは大変喜んでいました。

また、消防団員の方は4ストロークポンプの音の静かさに驚かれていました。今後このような地域に貢献できる活動をしていきたいと思います。(大型プロジェクト/白澤)

◎(株)奥山ポンプ商会ご一行様が駒ヶ根工場を見学



滋賀県でトーチポンプ特約代理店を営む(株)奥山ポンプ商会ご一行様社長以下36名が、11月28日(金)、1泊2日の研修旅行を兼ねて、トーチポンプ工場を見学されました。

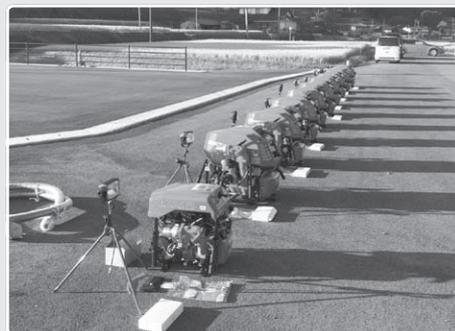
1日目は昼食後に駒ヶ根工場にご到着され、ポンプ組立工程などじっくりと見学された後に駒ヶ根温泉にてご宿泊。2日目には養命酒の工場やリンゴ狩りなど秋の行楽をお楽しみいただいた後に帰途につかれました。今回は限られた時間内での見学会でしたが、大変有意義な時間を過ごされました。この度は(株)奥山ポンプ商会ご一行様に誌上より厚く御礼申し上げます。(防災関西/山口)

熊本県山都町にVF53AS 9台、VF21BS 1 台一括納入

石造アーチ水路橋「通潤橋」で知られる熊本県山都町は、毎年2日間に亘り消防ポンプ点検及びポンプ講習会を実施しています。その為日頃から消防意識が非常に高く、最新の消防ポンプを更新。同町は昨年にVF53AS 5台、VF21BS 7を購入して頂き、今年は去る10月17日（金）にVF53AS 9台、VF21BS 1台が一括納入されました。同町関係者多数出席の下納入式典、並びに消防団員へのポンプ取扱い説明を3班に分かれて実施されました。質疑応答では既存で使用していたポンプとどこが違うかを熱心に聞いていました。

ご購入頂いた山都町様、並びに山都町へ販売にご尽力頂いた三輝物産（株）様には厚く御礼申し上げます。

（防災九州／田中）



各ブロック研修会

九州・山口ブロック



九州・山口トナーハツポンプ会では、去る9月18日（木）、19日（金）の両日福岡サンパレスホテルで技術講習会を開催致しました。

講習内容は、トラブルシューティングと防災用品の説明を行いました。トラブルシューティングでは、ポンプ4台用意し事前に不具合箇所を作り、それを受講者が探し出し正常に戻す作業を行いました。受講者の皆様方は、初め悪戦苦闘しましたが無事正常に戻すことが出来ました。そして防災用品では消防団の装備基準の改正に伴う装備品の説明を行いました。

講習会を終えて実際の現場で役に立つと皆様方大変濃い講習でしたと絶賛して頂きました。ご購入頂いた特約販売店の皆様、大変お疲れ様でした。

（防災九州／田中）

関西ブロック



7月29日（火）、30日（水）に関西地区で技術講習会を開催しました。中国・四国会場は、高松市の高松テルサにて、大阪会場は OMM ビルにて実施しました。

講習の内容は、VF53AS と VF63AS のトラブルシューティングで、事前に不調のポンプを準備しておき、販売店の皆様で故障原因の究明と修理を行うものでした。エンジンの始動不良や真空漏れ、回転不良等の不調原因を一つずつ解決していき、悪戦苦闘しながらも、最後は放水運転にて運転を確認し、無事に終了となりました。

2日間で38名に受講していただき、販売店の皆様のメンテナンスに対する意識の高さを感じました。また、日ごろの営業方法や修理についての情報交換もあり、交流を深める良い機会になったと思います。

真夏の暑い中での講習となりましたが、ご購入頂きまして有難うございました。今後も講習会を開催していきますので、是非ご参加をお願い致します。（防災関西／田村）

中央ブロック



弊社主催による「平成26年度トナーハツポンプサービス研修会」が去る9月12日（金）に駒ヶ根工場にて開催され、中央ブロック8社の販売店より計12名の研修生が参加して行われました。

今回は1日と研修期間が短いため、VF/VCのトラブルシューティングのみの内容で行われ、また研修生のレベルも年々変化していることから、昨年実施したトラブル内容を一部変更して実施しました。

トラブル内容を変更したにもかかわらず、トラブル解決を素早く行い終了してしまうグループもありました。各グループ共に普段からポンプを扱っている上級者から、全く扱っていない（機会がない）研修生まで一緒に講習を受けている中、理解できていない研修生に対し真剣に教えている姿がとても印象的でした。また、トラブルシューティングを終えた後、新システムのWEBによる、パーツオーダーシステムについての説明を受け、研修会は無事に終了の閉幕となりました。

研修を終えて、皆さん「非常に勉強になった!との感想がある一方、次回からの研修会は、「今回は異なる内容の研修会を行って欲しい」との声もありました。

今後はこれらのご意見を踏まえ、内容について一度全体的に確認を行い、徐々に見直しを図ってより充実した研修会にしたいと思っておりますので、ぜひ次回からもご購入頂いたら幸いです。

この度は研修会にご参加頂きました販売店の皆様、ならびに各関係部署の方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。また、この度参加いただいた研修生のみなさん、大変お疲れ様でした。（サービス室／新井）

北海道ブロック



弊社主催による「平成26年度北海道トナーハツポンプセールス研修会」が去る9月1日（月）、2日（火）の2日間に渡り、(株)北海道モリタ旭川工場および中央防災株式会社にて開催されました。

今回、他エリアとは異なり北海道エリアではV20が主流ということで、座学の可搬動力ポンプ運用講習に始まり、実機を使用してトラブルシューティング主体の内容で行われました。参加した研修生のレベルは初級者ということで、トラブルシューティングの内容も初級者用に準備し開催しました。初級者ということもあり、トラブル解決までに時間はかかりましたが、皆さん真剣に楽しく受けられていたのが印象的でした。

短い期間でありながらも中身の濃い研修会は無事に終了の閉幕となりました。今後はさらに研修のレベルを上げた内容にし、また他モデルについての研修も視野に入れ行っていきたいと思っておりますので、ぜひ次回からもご購入頂いたら幸いです。

研修会開催にあたり会場をお貸し頂きました、(株)北海道モリタ旭川工場様ならびに中央防災株式会社様、誠にありがとうございました。誌上より厚く御礼申し上げます。また、この度参加いただいた研修生の皆さん、大変お疲れ様でした。（サービス室／新井）

RISCON TOKYO

危機管理産業展 2014



去る10月15日(水)~17日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて危機管理産業展2014が盛大に開催されました。

本展は『防災・減災』、『BCP/BCM(事業継続計画・マネジメント)』、『セキュリティ』の主要3分野で開かれ、3日間での来場者数は約54,000人と昨年度の45,000人を大きく上回り、日本社会全体がより危機管理に関心を持っていると感じました。

トーハツは、最も出展数が多く全体の半分以上の会場面積を占めていた『防災・減災』のエリアに出展をし、従来の防災・救助用品に加え、今回の目玉でもある水陸両用車の展示も行いました。公の場での展示は危機管理産業展が初めてということもあり、来場者がどのような反応を示すか注目をしていましたが、やはり車両のインパクトは強く、ほとんどの方が足を止め、興味深く見られているのが印象的でした。

水陸両用車と言うとなかなか馴染みの無い車両でもあり、どのような仕組で動いているのか？ 水中はどのように進むのか？ どういった場所で運用を考えているのか？ 等々、多くのご質問もいただきそれぞれに各営業マンが答えていました。この車両の特徴でもある、陸上はキャタピラで走行し、水上はスクリューの動力で動くことを説明すると驚かされている方も多く見受けられました。来場者の中には消防や自衛隊などの官庁関係の方々も多く見られ、是非1台欲しいなどとおっしゃって下さる方もいて、好印象を持っていただけた様でした。

また、官庁関係以外の民間企業の方々でも、是非一度デモをして欲しいなどとおっしゃる方もいて、幅広い分野への拡販も視野に入れて行きたいと感じました。防災・救助用品についても、熱画像直視装置、水中探査装置／探索機、携帯用照明機器、ストレッチャー、外傷／熱傷等の応急手当用救急資機材等、多種多用途に渡る商品を展示し、多くの来場者の目を引いていました。

今回の危機管理産業展で感じたことは、幅広い意味での防災・減災の中に、より専門的で特化した製品や商品が見られたことです。近年、数十年に一度の大災害と呼ばれるような、集中豪雨からの水害、土砂災害。また火山噴火や記録的な豪雪などが頻繁に起こるようになり、このような災害に対応するために、企業もより専門的で特化した製品や商品の開発に力を入れているのだらうと感じました。トーハツとしても従来の消防ポンプや積載車に加えて、災害に対応した製品や商品、またそれらを積載した車両などの検討と提案をしていかなければいけないと思いました。

(大型プロジェクト／桑澤)



水陸両用車

日本上陸

急な斜面や沼地をもものもしない走破性



津波や大規模風水害に襲われた冠水地域を踏破しながらの人命救助に強力支援



キャビンやカラーリングもカスタム可能

ポンプユニットも搭載可能

6x6 XT66

名称	8x8 D2488B-P	6x6 XT66
エンジン型式	ターボディーゼルエンジン(水冷エンジン)	ターボディーゼルエンジン(水冷エンジン)
燃料タンク容量	40L	40L
走行時間	約10時間(平地走行)	約12時間(平地走行)
出力	63.38kW=85HP	32.81kW=44HP
最高速度	[陸上] 22.4km/h [水上] 5.6km/h	[陸上] 24km/h [水上] 6.4km/h
最大積載量	[陸上] 1,359kg [水上] 634kg	[陸上] 724kg [水上] 543kg
最大登坂能力	40度	40度
最大牽引重量	3,642kg	2,265kg
最大乗員数	9名	6名
外形寸法(全長×全幅×全高)	4,038×2,311×2,565mm	3,759×1,778×1,981mm
車両重量	2,582kg	1,494kg



水上は2基のプロペラ推進



※回転灯、アンプ、点滅灯は消防仕様標準付属品となります。

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 牧 邦治／青山 滋